SONY

Sony Xperia Configurator

取扱説明書

SONY

発行：
ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社
〒108-0075　東京都港区港南1-8-15

www.sonymobile.com

© Sony Mobile Communications Inc., 2009-2014. All rights reserved.本書のダウンロードおよび印刷が許可されています。

本書に明示されていないすべての権利は当社に帰属します。

初版　（2014年10月）

1.0版

本書はソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社によって一切の保証なく発行されています（※）。
誤字、最新の情報との相違の修正や、プログラム、機器の改良は、随時、予告なくソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社により実施される場合があります。前述の変更は本書の改訂版に反映されます。印刷版は一時的な参考用コピーとしてのみ使用できます。

※一切の黙示的保証（商品適格性または特定の適合性に関しての黙示的保証を含むがこれに限定されない）は除外されます。本書の情報の使用により発生した一切の損害（偶発的、間接的損害、逸失利益または商業的損失を含むがこれに限定されない）に対し、ソニーまたはそのライセンサーはいかなる場合においても責任を負わないこととします。

SONY

目次

1 はじめに：Sony Xperia Configuratorについて 5

2 ソフトウェアをインストールする 5

2.1 システム要件について 5

2.2 Sony Xperia Configuratorをインストールする 5

2.2.1 マスターパスワードを設定する 6

2.3 Configuration Agentをインストールする 6

2.4 Configuration Agentを無効にする 7

2.5 Sony Xperia Configuratorをアンインストールする 7

3 Sony Xperia Configuratorの使いかた 7

3.1 Sony Xperia Configuratorウィンドウの見かた 7

3.2 プロファイルを作成して管理する 8

3.2.1 プロファイルを新規作成する 9

3.2.2 プロファイルをインポートする 9

3.2.3 プロファイルのコピーを作成する 9

3.2.4 プロファイルを削除する 9

3.2.5 プロファイルをエクスポートする 10

3.2.6 デバイスにプロファイルをインストールする 10

3.3 プロファイルを設定する 10

3.3.1 全般 11

3.3.2 パスワード 12

3.3.3 制限事項 13

3.3.4 Wi-Fi 15

3.3.5 VPN 16

3.3.6 電子メールアドレス 20

3.3.7 Exchange ActiveSync 21

3.3.8 デジタル証明書 22

3.3.9 セキュリティとプライバシー 22

3.3.10 アプリケーション 23

3.3.11 ショートカット 23

3.4 アプリケーション 23

SONY

4 設定をデバイスにインストールする 24
4.1 設定のステータス 24
4.2 入力必須項目 25
4.3 デバイスをSony Xperia Configuratorに接続する.....25
4.4 設定をインストールする.....26
5 エラーメッセージ 29

SONY

1 はじめに：Sony Xperia Configuratorについて

Sony Xperia Configuratorを使ってプロファイルの作成や設定を行い、Sonyのスマートフォンやタブレットなどのデバイスにインストールすることができます。

2 ソフトウェアをインストールする

2.1 システム要件について

ソフトウェアをインストールする前に、最低限のシステム要件およびその他の必要条件が満たされているかを確認してください（表1：システム要件について）。

項目	要件
パソコンのOS	Windows 7、 Windows 8
CPU	Pentium 1.8GHz以上
メモリ	1GB以上の本体メモリ
ハードディスクの空き容量	100MB（インストール時）
ディスプレイ解像度	1024×768ピクセル以上
デバイスのOS	Android 4.2.2以上

表1：システム要件について

2.2 Sony Xperia Configuratorをインストールする

セットアップファイルを開き、ウィザードに従ってSony Xperia Configuratorをインストールします。

注： セットアップには.NET frameworkが必要です。.NET frameworkはMicrosoftのホームページ（http://www.microsoft.com/net）からダウンロードできます。

.NET frameworkをインストールした後にSony Xperia Configuratorセットアップを再起動してください。

2.2.1 マスターパスワードを設定する

初めてSony Xperia Configuratorを起動する場合、マスターパスワードの設定画面が表示されます。4文字以上でパスワードを設定してください（図1：マスターパスワード）。

マスターパスワードはログイン時に毎回入力します。

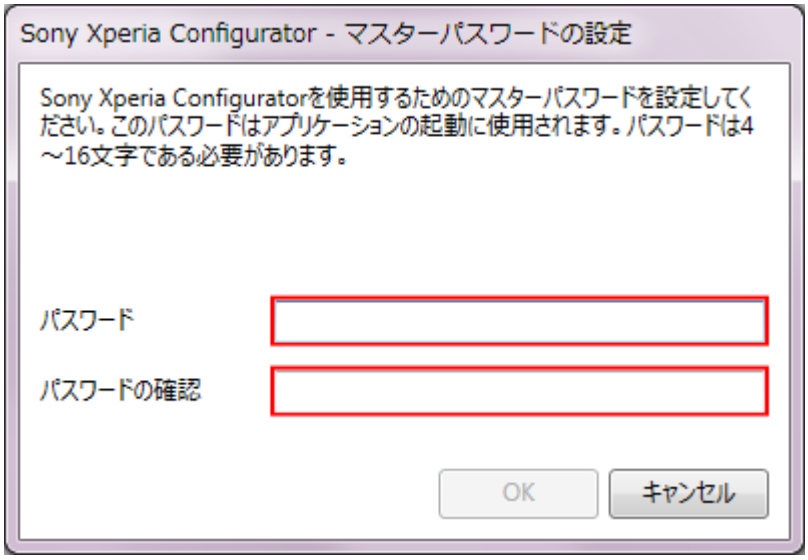

図1：マスターパスワード

2.3 Configuration Agentをインストールする

Sony Xperia Configuratorでデバイスにアクセスするには、Configuration Agentアプリが以下の手順でデバイス側にインストールされている必要があります。

（**注：** Xperia Z3シリーズ以降の機種ではConfiguration Agentはあらかじめインストールされていますのでこの手順は不要です。）

1. USBデバッグを有効にしてConfiguration Agentをインストールできるようにします。
   設定＞**開発者向けオプション**で**USBデバッグ**を有効にします。
   注： Android 4.2.2以降から、初期状態で開発者向けオプションの画面は非表示になっています。表示するには、**設定**＞**端末情報**で**ビルド番号**を7回タップします。前の画面に戻ると**開発者向けオプション**が表示されています。

2. Sony Xperia Configuratorを起動します。

3. デバイスをパソコンに接続します。自動的にインストールが開始されます。

2.4 Configuration Agentを無効にする

デバイス側のConfiguration Agentを無効にするには、**設定**＞**セキュリティ**＞**機器管理機能**で、**Configuration Agent**のチェックを外して**無効にする**を選択します。

注： **Configuration Agent**を無効にすると、Sony Xperia Configuratorを使用して行ったデバイス上の設定がすべて失われます。

2.5 Sony Xperia Configuratorをアンインストールする

Sony Xperia Configuratorをパソコンからアンインストールするには**コントロールパネル**＞**プログラム**＞**プログラムと機能**で、一覧にある**Sony Xperia Configurator**をダブルクリックします。

3 Sony Xperia Configuratorの使いかた

3.1 Sony Xperia Configuratorウィンドウの見かた

Sony Xperia Configuratorウィンドウの左側は**タスクビュー**パネルです（図2：Sony Xperia Configuratorウィンドウの「1」）。**タスクビュー**パネルには**プロファイル**、**アプリケーション**、**接続されたデバイス**の3つの項目があります。

- **プロファイル**をクリックするとプロファイルの設定画面が右側のパネルに表示されます（図2：Sony Xperia Configuratorウィンドウの「2」）（詳しくは「3.2プロファイルを作成して管理する」）。
- **アプリケーション**をクリックするとアプリケーションの設定画面が右側のパネルに表示されます（図2：Sony Xperia Configuratorウィンドウの「2」）（詳しくは「3.4 アプリケーション」）。

- **接続されたデバイス**にはパソコンに接続しているSonyのデバイスが表示されます（詳しくは「4.3デバイスをSony Xperia Configuratorに接続する」）。

図2：Sony Xperia Configuratorウィンドウ

3.2 プロファイルを作成して管理する

プロファイルは**タスクビュー**で**プロファイル**をクリックすると表示される**プロファイル**画面で作成し管理できます（図3：タスクビュー および 図4：プロファイル画面）。

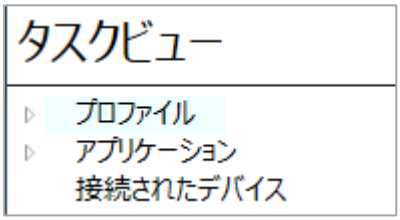

図3：タスクビュー

図4：プロファイル画面

3.2.1 プロファイルを新規作成する

新規をクリックしてプロファイルを新規作成します（図4：プロファイル画面）。**ファイル**メニューから操作する場合は**ファイル**＞**新規プロファイル**を選択します。

3.2.2 プロファイルをインポートする

プロファイルをインポートするには**インポート**をクリックします（図4：プロファイル画面）。表示が現れたら、インポート用パスワードを入力します（図5：インポート／エクスポートパスワード入力）。

ファイルメニューからは**ファイル**＞**インポート**＞**設定プロファイル...**と操作します。インポートパスワードはエクスポート時に使用したパスワードです（「3.2.5プロファイルをエクスポートする」）。

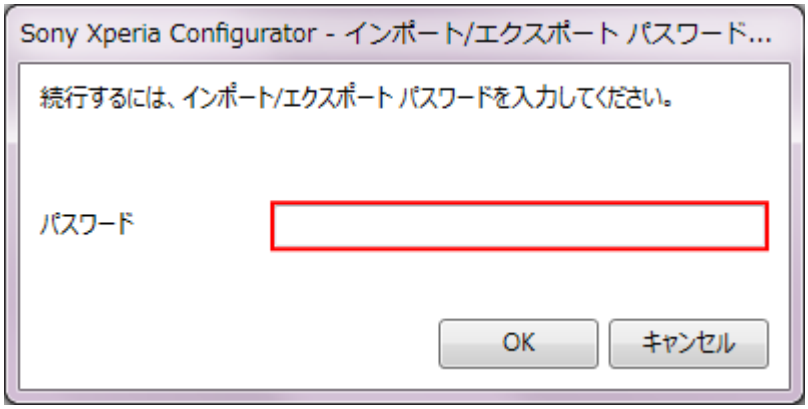

図5：インポート／エクスポートパスワード入力

3.2.3 プロファイルのコピーを作成する

プロファイルのコピーを作成するには、プロファイルのチェックボックスにチェックを入れて**複製**をクリックします（図4：プロファイル画面）。

3.2.4 プロファイルを削除する

プロファイルを削除するには、プロファイルのチェックボックスにチェックを入れて**削除**をクリックします（図4：プロファイル画面）。

3.2.5 プロファイルをエクスポートする

複数のプロファイルをエクスポートするには、プロファイルのチェックボックスにチェックを入れて**エクスポート**をクリックします（図4：プロファイル画面）。表示が現れたら、エクスポート用パスワードを設定します（図5：インポート／エクスポートパスワード入力）。**ファイル**メニューからは**ファイル**>**エクスポート**と操作します。

3.2.6 デバイスにプロファイルをインストールする

プロファイルをインストールするには、プロファイルのチェックボックスにチェックを入れて**インストール**をクリックします（図4：プロファイル画面）。接続されたデバイスにプロファイルがインストールされます（詳しくは「4.4設定をインストールする」）。

注： プロファイルは**設定プロファイル**画面でもインストールできます。

3.3 プロファイルを設定する

プロファイルには**設定プロファイル**で設定したプロファイルが一覧表示されています。**タスクビュー**でプロファイルを選択すると**設定プロファイル**画面が表示されます。

設定プロファイルでは、設定項目をクリックすることで個々の設定を表示することができます（図6：設定プロファイルパネル）。

注： お使いのデバイスによっては、Sony Xperia Configuratorのすべての設定項目に対応していない場合があります。デバイスを接続すると**設定プロファイル**のパネルでいくつかの設定項目がグレーアウトされます。プロファイルのインストール時、グレーアウトされた設定項目はデバイスに反映されません。

設定項目の設定が終了したら**保存**をクリックしてプロファイルを保存してください（図7：破棄と保存ボタン）。

破棄をクリックすると設定項目は前回保存した状態に戻ります（図7：破棄と保存ボタン）。

図6：設定プロファイルパネル

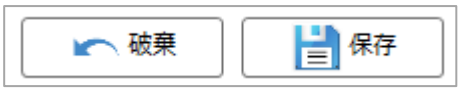

図7：破棄と保存ボタン

3.3.1 全般

名前や説明などのプロファイルに共通の設定を行います。

- **プロファイル名**：プロファイル名を設定します。
- **説明**：プロファイルの説明を入力します。

3.3.2 パスワード

パスワードによるセキュリティをデバイスに適用します。**パスワード**のチェックボックスにチェックを入れるとパスワードの設定が有効になります。

- **パスワード**：**パスワード**のチェックボックスにチェックを入れるとパスワードの設定が有効になります。
- **パスワードの変更**：**パスワードの変更**のチェックボックスにチェックを入れるとデバイスに新しいパスワードを設定できます。デバイス側に既にパスワードが設定されている場合には元のパスワードは置き換えられます。
    - **デフォルトのパスワード**：デバイスのパスワードを設定します。
    - **入力したパスワードの確認**：パスワードを確認します。
- **単純なパスワードの許可**：デバイスに1つの文字種によるパスワードの設定を許可します。
- **パスワード履歴**：以前に設定されたパスワードを履歴として保持する数を設定します。ユーザーによるパスワードの再利用を防ぎます。
- **パスワード品質**：デバイス側のパスワード品質について設定します。
    - **Unspecified**：パスワード条件に制限なしが設定されます。
    - **Face Unlock**：デバイスで「ファイスアンロック」以上の解除方法を使用します（例　PIN、パターン、英数字のパスワードなど）。
      注：　ファイスアンロック機能は、フロントカメラを搭載したAndroid 4.0以降のXperiaスマートフォンで対応しています。
    - **Something**：パスワードの設定のみで制限は設けません。
    - **Numeric**：数字およびアルファベット、特殊文字を含んだパスワードを許可します。
    - **Alphabetic**：アルファベット、数字、あるいは特殊文字を含んだパスワードを許可します。

- **Alphanumeric**：パスワードには少なくともアルファベットと数字を組み合わせなければなりません。
- **Complex**：パスワードには複雑さの要件を満たさなければなりません。パスワード条件としての文字種の組み合わせ数を0から5までの間で設定します。

- **最小パスワードの長さ**：パスワードの最小文字数を4から16字の間で設定します。
- **オートロックされるまでの最大時間**：自動ロックがかかるまでの最大時間を制限なし（**No Limit**）、または15秒から10分までの間で設定します。

3.3.3 制限事項

デバイス機能制限の設定をします。
デバイス機能制限のチェックボックスにチェックを入れると設定が有効になります。制限の設定には**機能**と**アプリケーション**の2つのタブがあります（図8：機能とアプリケーションタブ）。

図8：機能とアプリケーションタブ

3.3.3.1 機能

- **スクリーンショットキャプチャの許可**：スクリーンショットの撮影を許可します（例ddms）。
- **SDカードの許可**：ユーザーにSDカードのマウントまたは使用を許可します。
- **「不明なソース」からのアプリを許可**：提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。
- **テザリングの許可**：テザリング（デバイスをモデムとして使うこと）を許可します。
- **Wi-Fiの許可**：ユーザーまたはサードパーティーアプリによってWi-Fiが有効になるのを許可します。

- **Bluetooth**：ユーザーまたはサードパーティーアプリによってBluetoothが有効になるのを許可します。
- **ローカル同期の許可**：ローカル同期（Outlookの連絡先、カレンダー、タスクの同期）を許可します。
- **赤外線の許可**：赤外線接続を許可します。
- **ローミングの許可**：データローミングを許可します。
    - **データローミング制限の設定**：データローミングの上限設定を有効にします。
        - **データローミング制限**：30日間あたりのデータ量（単位MB）を設定します。5MBより小さく設定できません。
    - **ローミング中の同期を許可**：データローミング有効時に同期を許可します。
- **SMS/MMSの許可**：SMS/MMSの送信を許可します。
- **キーガードウィジェットの許可**：キーガードウィジェット制限を設定します。
    - **すべてのウィジェット**：キーガードウィジェットを制限しません。
    - **カメラを無効にする**：キーガードセキュアカメラを無効にします。
    - **なし**：すべてのキーガードウィジェットを無効にします。
- **ロケーションを許可（GPS）**：GPSによる測位を許可します。

3.3.3.2 アプリケーション

- **アプリケーション利用許可**タブ
    - **YouTubeの許可**：YouTubeアプリケーションの使用を許可します。
    - **ブラウザの許可**：デフォルトのAndroidブラウザまたはChromeブラウザの使用を許可します。
    - **Play Storeの許可**：Playストアからのインストールやアップデートを許可します。

- **カメラの許可**：カメラで写真や動画の撮影を許可します。

- **ホワイトリスト/ブラックリスト**タブ：**新規パッケージ名の追加**欄にアプリケーションパッケージ名を入力します。**追加**をクリックしてパッケージ名を追加し、矢印ボタン（<、>）で**パッケージ名**欄のパッケージを**ブラックリスト**または**ホワイトリスト**欄に移動します（図9：ホワイトリストとブラックリスト）。

  注：　ブラックリストに追加されたパッケージはデバイス上で動作できません。パッケージがホワイトリストに追加されている場合、デバイス上で他のパッケージは動作できません。システムアプリケーションはホワイトリスト／ブラックリスト制限の影響を受けません。

図9：ホワイトリストとブラックリスト

3.3.4 Wi-Fi

デバイスのワイヤレスネットワーク接続方法を設定します。**Wi-Fi**のチェックボックスにチェックを入れるとWi-Fi設定が有効になります。「＋」と「－」ボタンを使ってWi-Fiネットワークの追加や削除ができます。

- **ネットワークSSID**：ネットワークSSID（ネットワーク名）を入力します。
- **静的IPの設定**：チェックを入れると静的IP設定が有効になります。
    - **IPアドレス**：静的IPアドレスを入力します。
    - **ネットワーク接頭辞の長さ**：ネットワーク接頭辞の長さをビットカウント（例 24 = 255.255.255.0; 16 = 255.255.0.0; 8 = 255.0.0.0）で入力します。
    - **デフォルトのゲートウェイ**：静的IPのデフォルトゲートウェイを入力します。
    - **一次DNS**：静的IP一次DNSを入力します。
    - **二次DNS**：静的IP二次DNSを入力します。
- **リンクのセキュリティタイプ**：ドロップダウンリストから暗号化プロトコルを選択します。暗号化プロトコルを無効にするには**オープン**を選択します。

3.3.5 VPN

デバイスのVPNの接続方法を設定します。**VPN**のチェックボックスにチェックを入れるとVPN設定が有効になります。「＋」と「－」ボタンを使ってVPNアカウントの追加や削除ができます。

> **注：**　＊印および赤い枠が表示された箇所は必須項目です（詳しくは「4.2入力必須項目」）。

- **接続名（デバイスに表示）**：デバイスに表示するVPNアカウント名を入力します。
- **VPNタイプ**：ドロップダウンリストからVPNタイプを選択します。
    - **PPTP**
        - **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
        - **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。

- **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
- **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
- **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。
- **暗号化を有効化**：**暗号化を有効化**のチェックボックスにチェックを入れると暗号化が有効になります。

○ **L2TP/IPSec PSK**

- **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
- **L2TPSecret**：接続証明のためのL2TPシークレットを入力します。
- **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。
- **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
- **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
- **識別子**：IPSec識別子を設定します。
- **事前共有鍵を使用**：認証のための事前共有キーを入力します。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
- **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。

○ **L2TP/IPSec RSA**

- **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
- **L2TPSecret**：接続証明のためのL2TPシークレットを入力します。

- **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。
- **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
- **ユーザー証明書**：ユーザー証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
- **CA証明書**：CA証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
- **サーバー証明書**：サーバー証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
- **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
- **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。

○ **L2TP/IPSec Xauth PSK**

- **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
- **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。
- **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
- **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
- **識別子**：IPSec識別子を設定します。
- **事前共有鍵を使用**：認証用の事前共有キーを入力します。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
- **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。

- **L2TP/IPSec Xauth RSA**
  - **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
  - **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。
  - **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
  - **ユーザー証明書**：ユーザー証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
  - **CA証明書**：CA証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
  - **サーバー証明書**：サーバー証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
  - **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
  - **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
  - **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。
- **L2TP/IPSec Hybrid RSA**
  - **VPNサーバー（ホスト名あるいはIP）**：VPNサーバーのホスト名またはIPを入力します。
  - **ユーザー名**：接続証明のためのユーザー名を入力します。
  - **ユーザーパスワード**：接続証明のためのユーザーパスワードを入力します。
  - **CA証明書**：CA証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。

- **サーバー証明書**：サーバー証明書の別名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
- **DNS検索ドメイン**：接続証明のためのDNS検索ドメインを入力します。
- **DNSサーバー**：DNSサーバーを入力します。
- **ルートの転送**：内部転送ルートを入力します。

3.3.6 電子メールアドレス

デバイスで使用するメールアカウントの設定をします。**電子メールアドレス**のチェックボックスにチェックを入れるとEメール設定が有効になります。「＋」と「－」ボタンを使ってメールアカウントの追加や削除ができます。

注： ＊印および赤い枠が表示された箇所は必須項目です（詳しくは「4.2入力必須項目」）。

- **電子メールアドレス**：ユーザーのメールアドレスを入力します。
- **受信電子メールサーバー**：受信電子メールサーバー情報を入力します。
  - **アカウントタイプ**：アカウントのタイプをIMAPまたはPOP3から選択します。
  - **メールサーバーとポート**：受信電子メールのホスト名またはIPアドレスを入力します。
  - **ユーザー名**：受信電子メールサーバーにアクセスするためのユーザー名を入力します。
  - **パスワード**：パスワードを設定します。
  - **セキュリティタイプ**：受信電子メールのセキュリティのタイプをなし、SSL、TLSから選択します。
- **送信電子メールサーバー**：送信電子メールサーバー情報を設定します。
  - **メールサーバーとポート**：送信電子メールサーバーのホスト名またはIPアドレスを入力します。

- **ユーザー名**：送信電子メールサーバーのユーザー名を入力します。
- **セキュリティタイプ**：送信電子メールのセキュリティのタイプをなし、SSL、TLSから選択します。
- **すべての証明書を受け入れ**：**すべての証明書を受け入れ**のチェックボックスにチェックを入れると、送信電子メールサーバーから送信されたすべての証明書を認証します。

3.3.7 Exchange ActiveSync

デバイスで使用するExchange ActiveSyncアカウントの設定をします。**Exchange ActiveSync**のチェックボックスにチェックを入れるとExchange ActiveSyncの設定が有効になります。「＋」と「－」ボタンを使ってメールアカウントの追加や削除ができます。

注： ＊印および赤い枠が表示された箇所は必須項目です（詳しくは「4.2入力必須項目」）。

- **ActiveSyncアカウント名**：Exchange ActiveSyncのアカウント名を入力します。
- **ActiveSyncホスト**：Exchange ActiveSyncのサーバーアドレスを入力します。
- **安全な接続（SSL）を使用**：**安全な接続（SSL）を使用**のチェックボックスにチェックを入れると着信および発信電子メールでSSLセキュリティを使用できます。
- **ドメイン**：アカウントドメインを入力します。
- **ユーザー名**：Exchange ActiveSyncのアカウントのユーザー名を入力します。
- **電子メールアドレス**：Exchange ActiveSyncのメールアドレスを入力します。
- **パスワード**：Exchange ActiveSyncのパスワードを設定します。
- **すべての証明書を受け入れ**：**すべての証明書を受け入れ**のチェックボックスにチェックを入れると、メールサーバーから送信されたすべての証明書を認証します。

- **認証証明書を設定**：クライアント証明書名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します（「3.3.8デジタル証明書」）。
- **S/MIME証明書を設定**：S/MIME証明書名を入力、または**選択中...**をクリックして追加した証明書を選択します。
- **電子メールを同期**：メールの同期を許可します。
- **連絡先を同期**：連絡先の同期を許可します。
- **同期カレンダー**：カレンダーの同期を許可します。

3.3.8 デジタル証明書

デバイスで使用するデジタル証明書のインポートやセットアップの設定をします。**デジタル証明書**のチェックボックスにチェックを入れるとデジタル証明書の設定が有効になります。「＋」と「－」ボタンを使ってデジタル証明書の追加や削除ができます。

- **証明書ファイル**：クライアント証明書名を入力、または**インポート**をクリックして証明書をインポートします。
- **証明書の使用**：インポートされた証明書の使用を設定します。ドロップダウンメニューから**VPNとアプリ**、**Wi-Fi**、**電子メール**を選びます。
- **別名**：インポートされた証明書の別名を入力します。
- **パスワード**：証明書のパスワードを設定します。

3.3.9 セキュリティとプライバシー

デバイスに適用するセキュリティとプライバシー設定を行います。**セキュリティとプライバシー**のチェックボックスにチェックを入れるとセキュリティとプライバシーの設定が有効になります。

- **外部ストレージ暗号化を設定**：**外部ストレージ暗号化を設定**のチェックボックスにチェックを入れるとすべての外部ストレージを暗号化します。外部ストレージの暗号化

を設定すると、デバイスのSDカードは暗号化が完了するまで使用できなくなります。ユーザーがSDカードの暗号化を選択した場合、内部メモリも暗号化されます。

3.3.10 アプリケーション

デバイスにインストールするアプリケーションの選択をします。**アプリケーション**のチェックボックスにチェックを入れると設定が有効になります。

プロファイルにアプリケーションを追加するには、アプリケーションの横にあるチェックボックスにチェックを入れてください（図10：アプリケーション）。

図10：アプリケーション

アプリケーションのインポートについては、「3.4 アプリケーション」をご覧ください。

3.3.11 ショートカット

デバイスにインストールするホーム画面のショートカットを設定します。**ショートカット**のチェックボックスにチェックを入れると設定が有効になります。ショートカットを作成するには、**追加**をクリックしてください。ショートカットを削除するには、一覧のショートカットの横のチェックボックスにチェックを入れて**削除**をクリックしてください。

- **ラベル**：ホーム画面で表示されるショートカットのラベルを入力します。
- **URI**：ショートカットのURLを入力します（「http://」、「file://」、あるいは有効なパッケージ名（例えば「com.android.chrome」など））。

3.4 アプリケーション

デバイスにインストールするアプリケーションをSony Xperia Configuratorにインポートします。

アプリケーションをインポートするには**インポート**をクリックします。**ファイル**メニューからは**ファイル**＞**インポート**＞**アプリケーション...**と操作します。

Sony Xperia Configuratorにインポートしたアプリを削除するには、一覧のアプリケーションのチェックボックスにチェックを入れて**削除**をクリックしてください。

インポートされたアプリケーションは**タスクビュー**の**アプリケーション**画面に表示されます（図11：アプリケーション）。

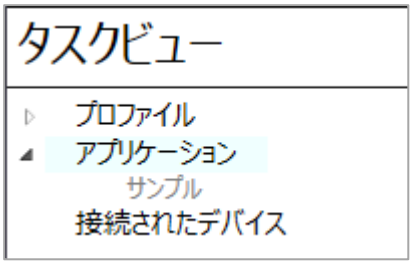

図11：アプリケーション

> **注：** デバイスにインストールするアプリケーションを選択する方法については、「3.3.10 アプリケーション」をご覧ください。

4 設定をデバイスにインストールする

ここではSony Xperia Configuratorで作成した設定をデバイスにインストールする方法を説明します。

4.1 設定のステータス

設定のステータスは各設定項目の設定状況を表しています（図12：設定のステータス）。

ステータスには3種類あります。

- **未設定**：ある構成項目の設定がなされていません。このステータスではプロファイルはデバイスにインストールされません。
- **保存なし**：設定項目内の必須項目が設定されていません。設定項目の変更を行った後、保存していない場合にも表示されます。
- **設定済み**：設定項目の設定が完了しています。

図12：設定のステータス

4.2 入力必須項目

＊または赤い枠が表示された箇所は入力必須項目です。入力がないとプロファイルが保存できないかデバイスへのインストールができません。

プロファイルを保存時に必須項目に入力がない場合は、アイコンに赤枠が付き、設定のステータスは「保存なし」に変わります（図13：入力必須項目）。

図13：入力必須項目

4.3 デバイスをSony Xperia Configuratorに接続する

デバイスが接続されている場合、パソコンとデバイスの両方にセキュリティのダイアログが表示されます。ユーザーはデバイスとパソコンの番号を比較することで接続を確認します。

1. パソコンとデバイスに表示された番号を確認して、デバイス側で**OK**をクリックします（図14：設定の確認）。

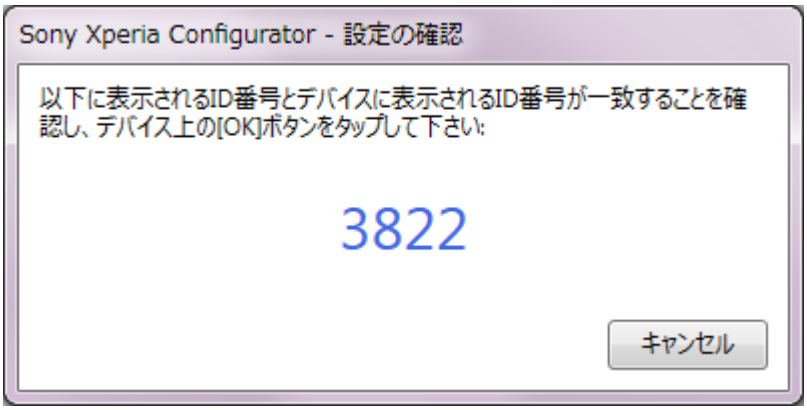

図14：設定の確認

2. 接続されると、デバイスの名前が**タスクビュー**の**接続されたデバイス**の一覧に表示されます（図15：接続されたデバイス）。

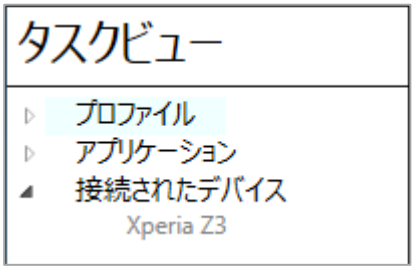

図15：接続されたデバイス

4.4 設定をインストールする

デバイスでプロファイルをインストールする手順は以下のとおりです。

> **注：**　デバイスがSony Xperia Configuratorの機能すべてに対応していない場合があります。そのようなデバイスが接続されたときは、**設定プロファイル**の設定項目がグレーアウトされます。プロファイルのインストール時、グレーアウトされた設定項目はデバイスに反映されません。インストール成功のダイアログが表示されますが、グレーアウトされた設定項目は反映されていません。

1. **プロファイル**の一覧でインストールするプロファイルのチェックボックスにチェックを入れます（図16：デバイスにプロファイルをインストールする）。

2. **インストール**ボタンをクリックします。

   注：プロファイルをインストールすると、デバイスの既存のプロファイルに上書きされます。

   注：設定プロファイル画面上でプロファイルをインストールすることもできます（「3.2.6デバイスにプロファイルをインストールする」）。

図16：デバイスにプロファイルをインストールする

3. インストールのダイアログが表示されます（図17：インストールのダイアログ）。

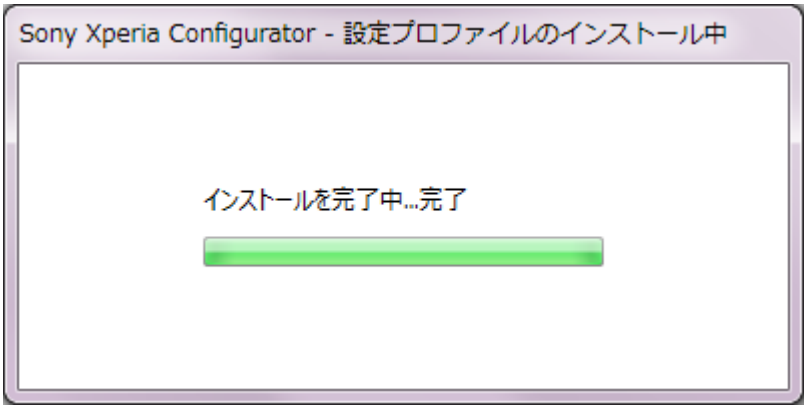

図17：インストールのダイアログ

4. ダイアログで「インストールが成功」の表示があれば、インストールは完了しています（図18：インストール成功）。

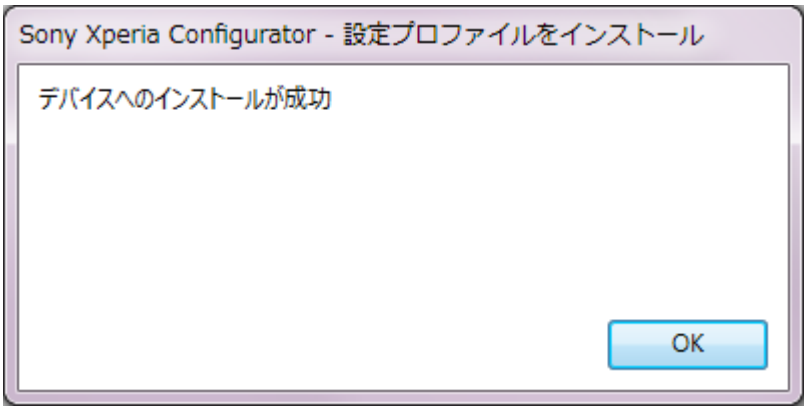

図18：インストール成功

SONY

5 エラーメッセージ

ここでは、Sony Xperia Configuratorでプロファイルをインストールする場合に表示されるエラーメッセージについて説明します。表2にエラーメッセージ、原因および対処を記載しています。

エラーメッセージ	原因	対処
VPN_PROFILE: Keystore is locked/not initialized.	デバイスのキーストアが初期化されていないためにVPNアカウントが作成できません。	デバイス側でパスワードを設定することで解決します。VPNアカウントを作成するには、デバイスがパスワードで保護されていなければなりません。
POP_IMAP_ACCOUNT: RESULT_DUPLICATE_ ACCOUNT	メールアカウントのメールサーバーおよびユーザー名がデバイス上に既にあります。	・デバイスの既存アカウントが正しければ、何もする必要はありません。メッセージを無視してください。 ・デバイスのアカウントを更新する場合、手動でアカウントを削除してからプロファイルをインストールしなおしてください。 ・新しいアカウントを作成する場合は、プロファイルのサーバーやユーザー名を変更し、プロファイルをインストールしなおしてください。
EAS_ACCOUNT_WITHOUT_ CLIENT_CERTIFICATE: RESULT_DUPLICATE_ ACCOUNT	ホストとユーザー名が同じExchange ActiveSyncアカウントが既にあります。	
EAS_ACCOUNT_WITH_ CLIENT_CERTIFICATE: RESULT_DUPLICATE_ ACCOUNT		
CERTIFICATE: Failed because screen lock is not activated.	デバイスがパスワードでロックされていないため、証明書がインストールできません。	パスワードまたはPINをデバイスに設定して証明書のインストールができるようにしてください。

表2：エラーメッセージ

SONY

商標と留意事項

本書に記載されている製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。本書に明示されていないすべての権利は当社に帰属します。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。

詳しくは、www.sonymobile.comでご確認ください。